



岡義博法律事務所報 第9号

高松市丸の内10番地 1 大和生命ビル 4階

TEL (0878) 21-1300

FAX (0878) 21-1833

もの食う人びと

「もの食う人びと」という本を読んだ。共同通信の記者の辺見庸氏が世界を旅して、食べるという日々の営みを世界中の人間がどのようにしているか見聞した記録である。

ダッカの屋台では、金持ちが食べ残した残飯が売られている話が出てくる。レストランで金持ちが食べ残した残飯が裏口から売られる。残飯にも流通市場があって、これが卸し商にわたり、そして小売商へと流れしていく。残飯の世界でも需給関係があり、古くなるほど、値段が安くなる。腐りかかった食べ物を食べる人間がここにはいる。しかし、残飯でも食べられる人間はまだよい。残飯すら食べられず行き倒れになる人間も目につく。日本では、毎日、何十万人、何百万人分の残飯が無造作に捨てられているというのに。筆者は問いかける。神をも恐れぬ贅沢の果てに彼我のありようがいつか逆転はしないかと。

飢餓のソマリア。栄養失調と結核で枯れ枝のようになった少女の話が出てくる。ソマリアの復興のためつぎ込まれる人道援助費は1億6600万ドル。これに伴う国連軍の軍事活動費が15億ドル以上だという。食料1ドル提供するのに軍事費を10ドルつぎ込んでいることになる。ここでは、ヘリが轟音をたて、装甲車が走り回る。そして、国連軍の合同食堂の

所長弁護士 岡 義博

イタリア軍コーナーでは、兵士たちがサラダ、あさりのリゾット、牛肉の赤ワイン煮、リンゴのランチを食べている。米軍の携帯食はビーフシチューからハムオムレツまで十数種ある。フランス軍はテリーヌ、ポタージュまでついている。外では、難民がやせ衰え、死を待っている。ある日、枯れ枝少女の姿が見えなくなった。死んでしまったのだろう。

日本は今、有史以来、最高の繁栄期にあると思われる。巷には物があふれ、食べ物もあり余るほどある。今の日本で飢え死する人はいないであろう。飢餓に苦しむ国々と日本の差はどうして生まれたのか。日本人は勤勉に働いたが、彼らはそうではなかったのか。それとも、熱帯のやせた土地のせいで、彼らの国の経済の発展がかなわなかっただけなのか。原因は誰にもわからない。しかし、日本が物質的に恵まれすぎていることは明らかである。

ところが、精神面ではどうであろうか。社会が発達し、物があふれすぎて、心が置きざりにされている。オウムにはじめた若者の心理について、オウムの教えに精神的な支えを求めたのだと分析する識者もある。精神面の重要さは誰もが意識していることであるが、現実には物資にとらわれる心がある。人間とはなんと因果な生き物であろうか。

法の女神・テミス



この像は、ギリシャ神話の「法の女神」テミス (Themis …ギリシャ語で、「掟」「習慣」「法」「正義」を意味します) を形どったものです。

右手に掲げるはかりは、公平を象徴するとともに、悪の重さをはかり、剣は力による貫徹を象徴し、目隠しは無私をあらわすものといわれています。

P L法とは製造物責任法のことです。本年7月1日から施行されています。全文でも6条しかない簡単な法律ですが、この法律が製造業者の責任を重くし、消費者を保護する法律として、世間の注目を集めています。今回はこの法律について。

P L法が適用されるのは「製造物」に限ります。製造物とは、製造または加工された動産をいいます。「製造または加工」というと自明のことのようですが、「自然」のものとの区別は仲々難しいものがあります。例えば、自然に海を泳いでいる魚は製造又は加工したものとはいえないでしょうが、養殖した魚に人体を害する物質が蓄積していた場合は製造又は加工したといえるか？塩漬けにしたり、味つけをした魚の場合はどうか？区別は難しいですが、養殖物については加工したとはいえないとされています。これに対し、調味したり塩漬けにした場合は加工したと考えられています。

次に「動産」に限ります。従って、建物は不動産ですからP L法の適用はないことになります。但し、建物を構成している部品（例えば、ドアとか窓ワク）に欠陥がある場合は、その部品自体は動産ですから、その部品の製造業者にはP L法の適用があります。

このように、部品でも原材料でも「製造物」にあたります。また、未完成品でも中古

身近な法律シリーズ(9) P L 法

品でも同じです。古くなり廃棄された物でも、製造され出荷された当時に欠陥があれば同じくP L法の適用があります。

次に、製造物に「欠陥」がある場合に、P L法の適用があります。「欠陥」とは通常有すべき安全性を欠いていることをいいますが、これには、設計上の欠陥、製造上の欠陥、指示・警告上の欠陥があります。欠陥といえるかどうかの判断要素は、製造物の特性や、その通常予見される使用形態や、引渡した時期等を考慮することになります。例えば、猫の体が濡れたから電子レンジで乾かそうとして猫が死んだとしても、このレンジに欠陥があるとはいえないません。レンジは通常食物をあたためるために使うものだからです。

責任を問われる主体は「製造業者」です。販売業者に責任はありません。但し、欠陥商品であることを知って売った場合には、他の法律によって責任を問われることはあります。また、製造業者でなくとも、製造業者としての表示をした者や、実質的に製造業者と認められる者については、P L法の適用があります。

製造業者に「免責」が認められる場合があります。製品引渡時の科学、技術の知見では欠陥が認識できなかった場合や、欠陥が他の製造業者の設計指示に従ったような場合です。

高松ウォッキング

事務所 E・O

ちなみにこれを高松弁に通訳すると、「元気にしどったんなー」「なにしゃったんな」「ほんまに懐かしいのー」「ひとつも変わったらんのー」となるのでしょうか。

私はこう言われてしまいました。「えー、悦ちゃんね。丸うなって！道でおうてもわかると。ばってん、声は悦ちゃんたいね！」



この夏、久しぶりの汽車の旅行。私の故郷長崎へ帰省しました。瀬戸大橋が出来て、とても近くに感じられ、嬉しくなりました。

長崎では、何年（？）ぶりかの中学校の同窓会に出席。いやー懐かしいこと。みんなしっかり、おじさん、おばさんしていました。「元気やったとー」「どげんしどったとねー」「いやー懐かしかー」はたまた「いっちょん変わったらんとね（そんなはず無い！）」。

まあ色々にぎやかなこと。話に花が咲き、時がワープして気分はしっかり中学生！

外部の方からの投稿です

Young — Man

事務局 H・S

この春短大を卒業して、岡法律事務所で働くことになりました。まだまだ未熟者ですが、よろしくお願ひいたします。

好評だった「事務所不思議発見」とは一変して、「近ごろの若者」を題材にして書いてゆこうと思います。

さて最近、どんなファッションが若い子たちの間で流行っているか御存知ですか？ズボンを腰の下で止めて、下に履いているパンツを見せるというファッションです。「そんなハレンチな…」と思った皆さん、街に出て若者ウォッキングをしてみて下さい。

夢のハワイ

我々の世代（団塊の世代）にとっては、ハワイは特別の存在でした。子供の頃、テレビで見たアメリカのホームドラマ。広い家ときれいな庭。広い台所に大きな冷蔵庫。そして大きな車。夢のようなアメリカでした。その延長に夢のハワイがありました。テレビのクイズ番組の賞品といえばハワイ旅行が目玉賞品でした。“一度はハワイに行ってみたい！”

このようなハワイに対する我々の世代の思い入れは近ごろの若者には理解できないでしょう。

そのハワイにやっと行けたのが昨年のこと。ハワイ初心者の私としては、行き先は当然ホノルルのあるオアフ島。空港に降り立つと空気が熱い。やはり南国である。そのままホテルへ直行。ハワイ初心者の私としては泊まるホテルは当然ワイキキの浜辺の近くのホテル。道一本へだてて、向かいに砂浜がある。（オーソロハワイジャー）。

しかし、この人間の多さはどうだ。砂浜は人があふれ、歩道も大混雑。それに、この日本人の多さは何だ。道行く人の2～3割は日本人である。ハワイのベテランがワイキキを敬遠して別の島へ行く気持ちがわかる。

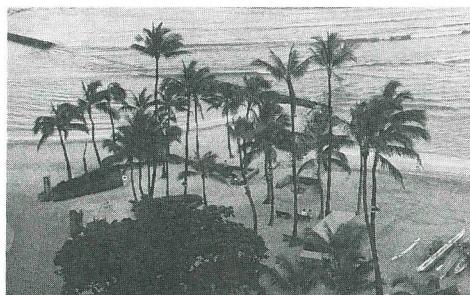
だが、何と言ってもハワイといえばワイキキである。混雑しておろうが、日本人だらけであろうが、物価が高かろうがそれが何だ。ハワイの価値が減るものではない。

旅行3日目にハナウマ湾に行く。泳いでいる横で魚が見えるというふれ込みで観光ガイドにも出ている有名な場所である。有名な場所とあらば、ハワイ初心者の私としては当然行かねばならぬ。しかし、ここも人間で大混雑である。海も相当汚れている。

観光客が押し寄せ、海が汚れたので現在では団体客の乗り入れが禁止されたとか。一般的の車両も規制されており、駐車スペースがある場所しか乗り入れができないようである。

そこで、湾への出入りはややこしいことになる。湾内の車が1台出ると、待っている車が1台入ることになる。入りたい車は、湾内へ下りる小高い丘の上で下から車が出てくるのを待っている。おまわりさんがその交通整理をしている。待つのが嫌な人は丘の上で車を降り、歩いて湾内に下りることになる（ただし、丘の上に駐車場はないのでタクシーなどを乗り捨てる）ことになる。

魚はというと、かわいい熱帯魚をイメージしていたのだが、なんと鮎の様な大きな魚の群れが、廻りに集まってきた。



ハワイ初心者の私としては、このほか、サンセット・クルージングや、サブマリンやアラモアナ・ショッピングセンターなど初心者が行きそうなところは当然行きました。どこもそれなりに楽しいものでした。

ハワイでは一ヶ所に滞在しのんびりと過ごすのが良いようです。全体にスロー・ペースでゆくのがハワイの持ち味でしょう。もう1度、裏を返しに行きたいものです。（Y・O）

* 編集後記 *

当事務所の窓からマクドナルドの店が見えます。店員さんの「いらっしゃいませ！毎度有難うございまーす。」の元気な声。私達も明るく朗らかにモットーにしていますが、仕事柄マクドナルドのようにもいかず…。

職業により、挨拶も工夫されているようです。病院では薬の袋に「またどうぞ」ではなく「おだいじに」と書いてありますね。（E）

